

# 勤労者福祉の充実を

## 新年に会の発展を誓う

### 富士宮地区労働者福祉協

富士宮地区労働者福祉協議会（小林純一会長）の第18回新年の集いが17日、富士宮市黒田のフォレスト・ヒルズで開かれた。会員・役員110人が新たな年の出発に期待を寄せた。



小林会長は「市内で働く勤労者福祉を充実させ、生活向上と安定を目指すため、広報や社会貢献活動、ホームページ更新などに取り組みながら、会員の協力で会を発展させていきたい」とあいさつした。

来賓の須藤秀忠市長

は「勤労者の賃金が増えないまま、消費税が8%に増税されるのはどの不安要素があるが、昨年は富士山の世界文化遺産登録や東京五輪誘致など、久し

ぶりに日本全体がわき立つ年となったので、今年は観光の受け皿を充実させ、富士宮の魅力を積極的にアピールしたい」と述べた。関係者が鏡開きで新たな年を迎えたことを祝った後、出席者は和やかに歓談。ゲームや大抽選会で盛り上がった。